



2011～2012年度
国際ロータリーのテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011～2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創会 立 1980年(昭和55年)1月10日
幹事 長 高須 洋志
 事 長 馬場 将嘉
クラブ広報委員長 関谷 俊征
例会 日 毎週木曜日 PM12:30～
 場 ヒルトン名古屋

事務局 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

第1525回例会

2011年10月20日(木) 晴 第15回

～職業奉仕月間・米山月間～
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

司 会 : 亀井直人会場委員長
斉 唱 : 「それでこそロータリー」「四つのテスト」
ゲ ス ト : RI第2760地区R財団委員会カウンセラー
2007～2008年度パストガバナー
江崎柳節さん

会長挨拶

高須洋志会長

東日本大震災への義援金について、受皿となる組織がどう作られて、どういう支援を考えているのか、情報を共有化するためにも分かりやすくお話しします。震災発生直後ガバナー会の名前で義援金を募り、それを一旦ガバナー会に送りました。この話と今から申し上げる東日本大震災の復興基金とはまた別のもので、田嶋ガバナー年度の時に東日本大震災が起り、義援金を集め、その義援金の一部を直接現地へ送りました。残されたお金を震災で両親を失われたお子さんの教育基金にしようというアイデアと、震災地のRCを被災してないRC5つで支援し、正常な活動ができるようにしようという『Five for one club』が提案をされました。2760地区は送った資金を田嶋ガバナーのご判断で趣旨通りお使いくださいという立場を取っています。集められたお金が一度に被災地へ行かず、基金としてプールされたということに異論を唱えられるパストガバナーがおられます。緊急に必要なお金なので、現金を是非とも早く現地の方へ送るべきだという立場であり、支援しようという意志は同じですが、その方法論の違いがあります。一旦ガバナー会にお金がプールされましたが、それを地区へ返してもらい、直接被災された地区へ送ろうという動きをしているところもあります。2760地区は田嶋さんのご判断と、それを受けた当年度の松前ガバナーのご判断もあり、趣旨として間違った判断ではないという事で、納めた義援金を戻してもらって直接被災地へは送るということはないという結論であります。この地区の決定に異論のあるクラブはクラブ単独として義援金を請求し、それを被災地の特定の地域やクラブへ送る事もできます。当時のガバナー会の決定はロータリーの在り方として間違っていないと思い、特に返金を請求しようという意志は私としては持っていません。

『東日本大震災義援金に関する報告およびお願い』として、松前年度にお一人当たり五千円程度の寄付をしていただけないかという案が松前ガバナー名で届きました。この義援金がどこへいかというと、ガバナー会とは別にRIロータリー財団の日本地震災害復興寄金へ入ります。財団のお金はマッチング・グラントでの手続きがあり、緊急の対応がしにくいいため、例外的に東日本大震災に関する資金を使いやすくしようと日本に委員会を作りました。こ



の委員会が審査をした上、適切であると判断した復興事業をロータリー財団へ申請します。世界中の義援金と共にロータリー財団に一旦プールされ、それを震災復興向けに日本の委員会が申請するとすぐに下りてくる仕組みになっています。

ガバナー会への義援金募集とは別にロータリー財団を通じて義援金を募集していますが、誰がどういう資格で行っているのかというお問い合わせがありました。義援金を募集するために日本に作った委員会の中心になっているのが小沢一彦さんです。この方はロータリー財団管理委員会の現役の委員の一人です。最近までRI理事だった黒田さんと、4人のパストガバナーの合計6名の委員で構成され、小沢さんが所属する横須賀RCが日本の本部になっています。全国のロータリアン全てにご案内した訳ではなく、この地区では松前ガバナーがご判断された事だと思います。違ったやり方で行う地区もあり、同じようなやり方をされる地区もあり、金額もまちまちだと思います。ロータリーは集金集団でも寄付集団でもありませんので、一人一人に寄付をして下さいというのは基本的に相応しいかという問題もありますが、ガバナーとしてはそういう意向をお持ちになっていますので、賛同する意志をお持ちの方は今年中に5千円の寄付をお願いしたいと思っています。

ニコボックス

平野哲始郎ニコボックス委員

- ・本日、江崎パストガバナーをお迎えしてポリオについてのお話をして頂きます。 **増田 盛英さん**
- ・江崎さんをお迎えして。 **岩本 成郎さん**
- ・二男に子供ができました。私にとりまして3人目の孫です。10月29日に結婚記念日です。江崎パストガバナーをお迎えして。 **近藤 雄亮さん**
- ・10月17日から岩手県の宮古市と釜石市の学校に清掃用品を届けて来ました。まだまだ復興は進んでいません。皆様も長いスパンのご支援をお願いします。 **本多 清治さん**
- ・明日は私の誕生日です。敬老バスをもらえる年齢になりました。うれしくもあり、うれしくもなし。 **西本 哲さん**
- ・今日は長女の誕生日です。 **湯澤 勇生さん**
- ・ドラゴンズ優勝、おめでとう!! **湯澤 信雄さん**
- ・子供の運動会の綱引きで、全身筋肉痛です。 **鈴木 淑久さん**
- ・ドラゴンズ優勝。よかったよかった。 **高木 元明さん**
- ・長女がNHK合唱コンクール全国大会に出場しました。先週NHKホールに応援に行ってきました。 **大嶽 達郎さん**
- ・出張続きで、2週欠席しました。 **関谷 俊征さん**
- ・風邪ひきました。 **内田 久利さん**
- ・久しぶりニコボックス。 **長坂 邦雄さん**
- ・落合竜2連覇御目出度う。日本一目指して頑張れ! **野崎 洋二さん**

会員67名 出席44名 (出席計算人数51名)

出席率 81.5% 10月13日は補填により 86.2%

幹事報告

馬場将嘉幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第1・2・3部会合同委員会を行います。
- ・次週10月27日(木)9時30分よりヒルトン名古屋4階「梅の間」にてRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会配席の打ち合わせを行います。
- ・同日11時00分よりヒルトン名古屋4階「梅の間」にて推薦委員会を行います。
- ・同日13時40分よりヒルトン名古屋4階「竹林の間」にて第15回地区大会実行委員会を行います。
- ・11月12日(土)13時30分より15時30分までウィンクあいち2階小ホールにて環境講演会「クマともりとひと」が開催されます。講師は日本熊森協会会長 森山まり子さん。(主催:中部名古屋みらいRC)入場は無料です。ぜひともご参加下さいますようお願いいたします。

卓話

RI第2760地区R財団委員会カウンセラー
2007～2008年度バストガバナー 江崎柳節さん

ポリオ撲滅の現状と今後の課題



紀元前1500年の壁画にポリオ患者だと言われる人が描かれています。3,500年間ポリオは地球上に続いております。私共ロータリアンは1985年から37年掛けてポリオと戦って参りました。この間、約10億の子供にワクチンを投与し、700万人のポリオ感染を防いで参りました。ポリオによる脊髄性の小児麻痺で呼吸困難で亡くなってしまおう方も2割ぐらいございます。

1988年はロータリーのイニシアチブを基にし、国連のグローバルポリオエラディケーションイニシアチブという会議で世界中の機関でロータリーを支え、ポリオを絶滅しようと決まった歴史的な年です。4つの組織(RI・WHO・ユニセフ・CDC(アメリカの疾患管理センター))で構成され、後にビルゲイツ財団も参加することになります。ビルゲイツは家族にポリオ患者をもち、親子共にシアトルRCのロータリアンです。世界各国政府もこれを支援し、2012年6月迄に用意したお金はロータリーは10億ドル、ビルゲイツ財団は7億5千万ドルとなっています。国連やWHOはこれを推進するための援助をしてくれています。

ポリオの発生国は2009年にはついに4ヶ国になりました。4ヶ国とはインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアです。2008年からポリオの症例は減りました。その頃、WHOではポリオ絶滅をロータリーに誓っております。4ヶ国のうち、インドはシン首相やパティール大統領がNID(全国予防接種日)という、国が予防接種を与える日を決め、その一日でインド中の子供に国民総動員でポリオワクチンを接種します。今年2月には1日で1億7千万人の子供への接種を終わらせました。1日でポリオ撃退ができるこのシステムは国連でもモデルになっております。色々な行事にNIDのような日を作るという動きになっております。

アイルワードという方がバーミンガムの公演で「新戦略プランで、すでに地球上からポリオはほとんど絶滅されようとしている」と仰りましたが、少しでも患者が残っている場合、ばらまき感染が起こります。ポリオは特に生ワクチンを飲ませた場合はその体内に一生ウィルスが残ると言われ、それが糞便などで伝播するのです。再感染という課題は残る訳ですが、4ヶ国で撲滅すればこういうことも無くなると思います。生ワクチンを飲ませると体内に残るので、不活性化ワクチンを注射で接種しようと思っても、予

算の関係で日本も未だにできていません。先ほどのインドのように一億七千万人に注射をすれば、予算的には間に合いません。

残った4ヶ国は共通してイスラム教圏の国です。オバマ大統領はイスラム系51ヶ国の会議へ行き、今こまできているポリオをイスラム系の国が一致団結して、治すようにとお話をなさいました。インドでは去年から今年に掛けて、1例発生しましたが、それ以降は発生していません。アフガニスタンではカルザイ大統領が率先し、タリバンもNIDの日には活動をやめ、協力の姿勢です。ナイジェリアも国家元首夫人が先頭に立ち、2010年にはかなり減りました。先日ナイジェリアが撲滅の祝賀会を開いたとニュースになりました。アフガニスタンでは減っていますが、パキスタンでは逆に増える傾向にあります。内政の国情もあり、宗教的な考えの問題もあります。パキスタンとアフガニスタンは1つの共通の地区として、ロータリーを中心に一生懸命活動しております。カラチ(パキスタン)では『END POLIO NOW』のロゴを公的な建物に投射する訴えを行ってます。

飲む生ワクチンはセービン博士という方が開発いたしました。この方はシンシナティRCのロータリアンで、ポリオを絶滅するのに立ち上がった大きな1つの縁であると思います。2009年～2011年にかけて、今まで治しにくかったポリオ1型と3型がどうして劇的に減ったかと言いますと、ロータリーの2億ドルチャレンジの資金で新型の2価経口ワクチン(BOPV)が出来たためです。2価というのは1型と3型が同時に治せ、1型が減ると3型が出るという現象が無くなったため、記録的に減りました。途中で諦めてしまうと、今後40年間でさらに2千万人近い子供たちが身体障害を起こし、今まで我々が使った何倍もお金が今後の治療に必要なのです。ですから今こそポリオを絶滅させる絶好のチャンスなのです。それがまさしくロータリーが訴えている『END POLIO NOW』ということなのです。世界中の国のリーダーにも初めて理解を頂き、一緒になって進めていけたらと思います。

今年フランスで開かれたG8サミットで、2012年までにポリオを撲滅するには予算不足の懸念がある事が論じられました。今年6月ニューオーリンズでロータリー国際大会があり、ビルゲイツが「ロータリーは素晴らしいイニシアチブを取って、ポリオがここまで絶滅に向かっている。しかしロータリーにこれ以上の苦勞を掛けることは限界だと思う。皆様方が国に帰られたら、国の指導者にポリオは今このような状況にあるということを訴えて欲しい」と仰いました。8月に日本政府はビルゲイツ財団と組んで、ポリオ撲滅が遅れているパキスタンに50億円の円借款を供与しました。しかもポリオ撲滅の効果が出た時は日本への返還は求めず、お金はビルゲイツ財団から日本へ返すことになっています。駐インド日本大使がNIDの日に合わせてポリオワクチンを購入する為、10億円を日本からインドに送ったというお話をされました。2億ドルチャレンジで現在1億9千万ドルが集まりました。あと半年を残して目標の95%までできました。日本でも100%を超えたところはかなりあり、我が地区も100%を超えるのは間もなくだと思います。

私どもは37年間、堅い決意とともに全ての子供たちに対する約束として、努力をしているところです。地球上で人類の英知で治った病気はポリオの前に天然痘がございます。これは数も少なく、菌も種類だったためワクチンで簡単に治りました。ポリオは3つの型があり、世界中のしかも恵まれない国に偏って発生しています。ロータリーが世界に対する約束を守るために今後ともご支援をお願いしたいと思います。

例会のご案内

■今週の卓話 10月27日(木)

米山奨学生: 染怡さん

テ — マ: 脱メタボ! 生活習慣病について知ろう

■次週の行事 11月3日(木) 法定休日により休会

■次々週卓話 11月10日(木)

会員卓話: 増田盛英さん

テ — マ: 地区大会役割分担等最終報告